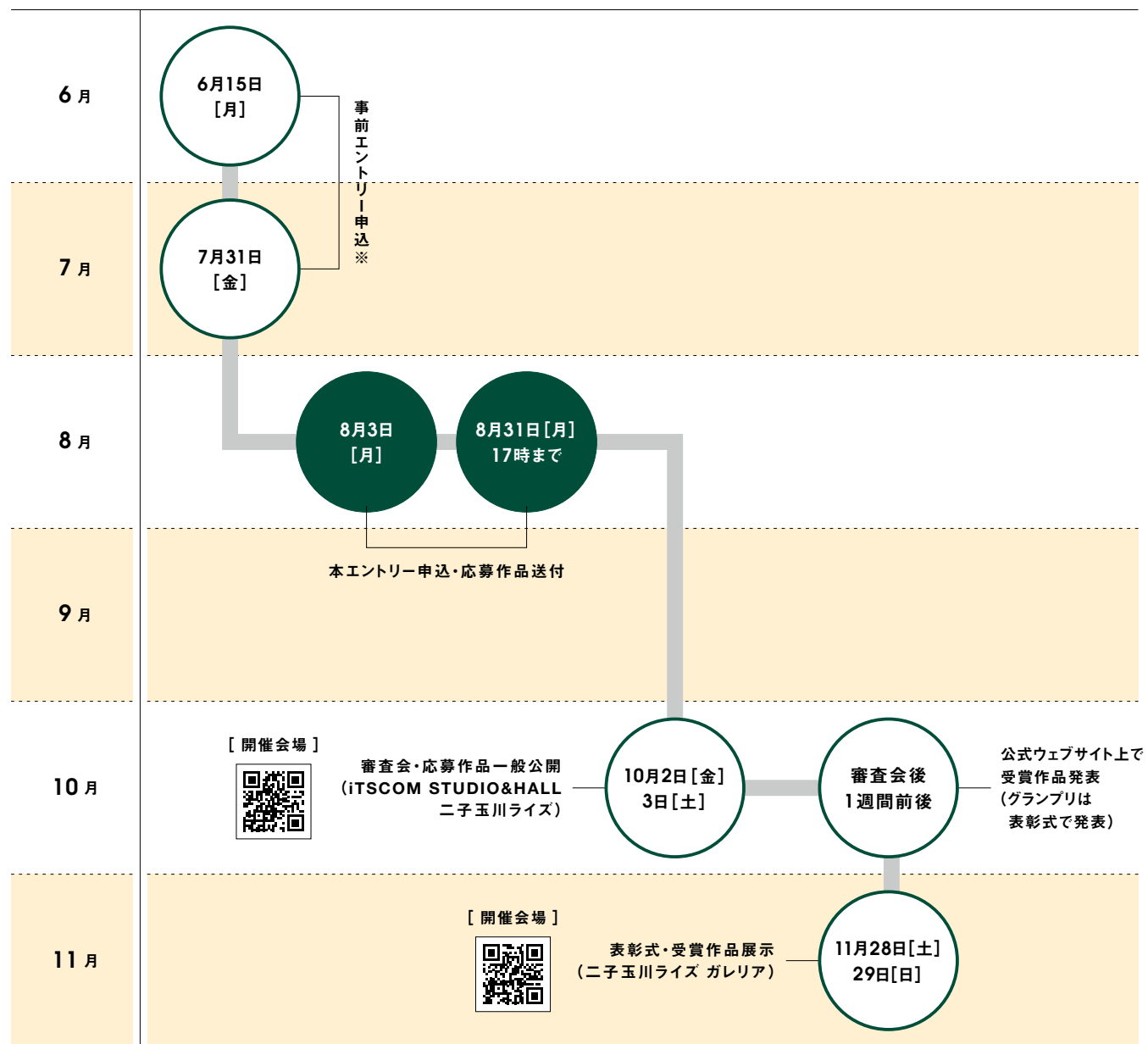


SCHEDULE

[スケジュール]

2020



※作品応募予定の方は必ず事前エントリーをしてください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、「応募作品一般公開 (併催イベントなどを含む)」、「表彰式」、「受賞作品展示 (ワークショップなどを含む)」を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。



JAPAN LEATHER AWARD 2020

エントリーお申し込み・お問い合わせは…

一般社団法人 日本皮革産業連合会 (JLIA)
Japan Leather Award 2020 事務局

〒113-0031 東京都文京区根津 1-1-19 9F (株式会社 ザッツコーポレーション内)
tel.03-3827-1991 fax.03-3827-1995

Twitter ▶ @leatheraward
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/leatheraward>
Web Site ▶ <https://award.jlia.or.jp/2020/> ……



※パンフレット掲載内容は、変更になる場合があります。

GUIDE FOR RECRUITING WORKS



JAPAN LEATHER AWARD 2020

国内最大のレザープロダクトコンペティション

ジャパンレザーアワード2020

[作品募集のご案内]

CATEGORY

☑ BEST PRODUCT ☑ FUTURE DESIGN

CONTENTS

APPLICATION PROCESS / APPLICATION REQUIREMENTS / REVIEW METHOD / JURY MEMBER / EXHIBITION / AWARDS CEREMONY / AFTER WINNING PR / WINNER'S PR / 2019 WINNERS REPORT / SCHEDULE

AFTER WINNING PR

[受賞後のPR]

※1…新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、受賞作品展示（ワークショップなどを含む）を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

1 ※1

受賞作品展示会

受賞作品は、二子玉川ライズ ガレリアにて展示を行います。また会場内にて、受賞者によるワークショップや製作実演、靴磨きの実演、レザーケア相談などを行い、一般の方々に楽しんでいただける企画を用意いたします。

【会場】 二子玉川ライズ ガレリア
東京都世田谷区玉川 2-21-1
【開催日】 11月28日(土) /
11月29日(日)の両日11:00~17:00

※開催時間は変更する場合があります。



2020年 11月28日[土] 29日[日] Japan Leather Award 2019 受賞作品展示会の様子

2

受賞作品紹介小冊子

受賞者および受賞作品をまとめた小冊子を作成。受賞作品展示会会場で配布するほか、各受賞者にもプロモーション用として提供。また後日、その他の応募者全員に送付する。



2019年版の小冊子

WINNER'S PR

[グランプリ受賞者のPR 2つの中から選択]

1

靴磨き芸人・奥野氏による グランプリ作品紹介映像作成

人気YouTuberでもある奥野氏がPR動画を作成。作品はもとより製作の背景なども存分に紹介していただきます。情報を一気に拡散する動画ならではのPR。昨年の動画は既に1万回以上視聴されています。



奥野 奏氏

1990年生まれ チャンネル登録者9.8万人以上、再生回数約1,000万回を誇る人気YouTuber。主に靴磨き関連の動画を投稿しており、動画本数も200本にのぼる。靴磨きの腕はさることながら、トーク力や靴磨きに対する分析力により、日本一わかりやすい靴磨き動画として多くの支持を受けている。

2

人気雑誌「2nd」に 受賞作品の取材記事を掲載

大人の休日スタイルを提案する、身近でリアルな大人ファッション誌「2nd」(樫出版社)に見開き2ページで掲載します。プロフィールや記念になる雑誌ならではのPR。



2019 WINNERS REPORT

[2019年受賞作品]

今年
は
あ
な
た
が
!

フットウェア部門
ベストデザイン賞



吉田真也さん

▶ 神戸医療福祉専門学校 三田校

「8」

整形靴の技術をベースにストラップの位置に関しても解剖・運動学的なことを考慮し、足の動きに対して機能的に働くよう設定。取り外し可能なストラップの存在もこの靴の大きな特徴。テーピングのように巻くことで足首を固定させながら装飾としても機能している。



バッグ部門
ベストデザイン賞



井戸田和之さん

▶ 株式会社 村瀬靴行

「HideRU(ひでる)」

ランドセルが持つシルエットの美しさや背負いやすさは生かしながら、手縫いやひだ寄せといったハンドメイドの技術や、生きた革を使うことを大切に、時が経つことも楽しいと感じさせてくれる鞆へと昇華させた。

バッグ部門
ベストデザイン賞



村林麗子さん

▶ 株式会社 吉田

「ドロースtringハンドバッグ」

フォーマルなハンドバッグのイメージはそのままに、外側には厚みと張りのある革を使った。内側にはやわらかく手触りが良いラム革を使うことで、口が広げやすく、絞れば中の物が見えなくなる工夫もされている。

バッグ部門
フューチャーデザイン賞



矢内 徹さん

▶ 株式会社 吉田

「ビッグクロシェットバッグ」

肉厚のサドルレザーの外装がやわらかなシープスキンの巾着型の内装を覆う構造。自立させることもでき、雨や汚れから守ってくれる外装と8つのポケットを備えている内装は取り外せて内装の巾着だけで使うことも可能。

バッグ部門
フューチャー
デザイン賞



小林 剛さん

▶ 株式会社 吉田

「ネオンレインボーザック」

防水性能を持たせたやわらかな革を使い、機能的に仕上げられたマウンテンバックパック。4つの気室にアクセスするファスナーの引き手と止めのコバに施されたネオンカラーが視認性を高めつつ、良いアクセントに。

フットウェア部門
フューチャー
デザイン賞



生駒朋彦さん

▶ カワノ株式会社

「Transformation」

表面へ均一に施されたダイヤ状のパターンは、装飾としてだけでなく、折りたたまれ広がることによってあらゆる足の形に合わせて変形できる。履き心地はもちろん、脱ぎ履きや歩くことで変化する靴の表情も魅力的。

フリー部門
ベストデザイン賞



坂崎 匠さん

▶ Arti

「Leather Doll」

天然皮革をさらに身近にしようというコンセプトでつくられた人形。しなやかさややわらかさ、あたたかさを感じる風合いを生かすために、接着や縫製はせず、厚みのあるヌメ革を切り込みやビス留めで仕上げている。

学生部門
最優秀賞



藤田れなさん

▶ 兵庫県立姫路工業高等学校 デザイン科

「桃太郎について行きたかった猫」

親から子へと語り継がれる昔話に猫が登場する機会がないことから生まれた、桃太郎について行きたかった猫の人形。ユーモアと物語性あふれる作品コンセプトを、猫の表情や鎧など細かなつくり込みで表現している。

学生部門
最優秀賞



王 廷佳さん

▶ 学校法人文化学園 文化服装学院

「SANAGI」

冬の枯れ枝にしがみつき羽化に備える蛹(さなぎ)がもつ落ち着いた印象や色合いをイメージ。四角張った書類やパソコンではなく、遊び心を持ち運ぶ。そんな豊かな気持ちにしてくれるバッグ。

フリー部門
特別賞



中山智介さん

▶ 銀職庵水主

天球将棋(テンキウショウギ)

将棋盤の9×9マス将球体へ構築した作品。ベジタブルタンニンなめしの牛革を使い、積革の技法を応用して構成。飾り金具に用いた真鍮無垢材とともに将棋盤と駒がどう美しく経年変化していくのかも楽しみたい。